

団体名・グループ名

今川ホタルを守る会

審査委員の評価のポイント

ホタルの保護から水質調査、生物調査に発展しており、子どもたちの意識と自覚と楽しさが伝わってくる。きれいな川を守るために、森を知る活動をしたり、キャンプではアクリルたわしを使い、少ない水で洗うなど自ら実践するとともに、キャンプをしている人にも呼びかけるなど、独創的な活動が高く評価された。

活動の場所 ・おちばの里親水公園周辺 (今川の上流から下流)	活動したこどもの人数 15名
	活動したこどもの学年 小学校4～6年
活動継続年数 3年以上	主な受賞歴 なし

活動グループ(学校・団体)の紹介、活動頻度

平成19年度の「ホタル観察会」のときに、もっと広く市民に知っていただき、ホタルの保護の大切さを啓発していくために、子どもたちにも呼びかけようということになり、平成20年4月に「今川ホタルを守る会」を発足させた。湖西市内の小学生(4年生8人・5年生5人・6年生2人)が、会として月1回程度の活動を行い、さらに、保護活動に今興味を持った子どもは、休日を利用して活動を進めてきた。今川の自然観察会やごみ拾い、水質調査、ホタルの小道の整備などを実施し、平成20年6月に開催した「ホタル観察会」では、多数の市民が参加し、子どもたちの取り組みが広く市民に知られるようになってきた。会に参加している子どもたちの中には、初めてホタルを見たという子どももいて、子どもたち自身がその活動の大切さを再認識することになった。また、今川とは馴染みの少ない子どもたちも活動に参加しており、市内の子どもたちによる活動であるということが、市民の自然保護の意識を変えていくよい活動ともなっている。

活動の概要(活動の経緯も含めてご記入下さい)

湖西市北部を流れる「今川」では、かつてゲンジボタルが乱舞していた。しかし、近年はその数を減らし、地区民からも忘れ去られた存在となっていた。数の減った原因は、今川の水質悪化によるところが大きい。そのため、ボランティア団体を中心となって今川のホタルを取り戻そうという活動を始め、水質浄化や自然観察会、ホタル観察会を実施してきた。そこで、大人だけでなく、子どもたちのよる保護活動も大切だということから、「今川ホタルを守る会」が平成20年4月に発足した。

4月から6月までは、ホタルの小道の整備活動を中心に実施してきた、ホタルを市民に観察していただくには、観察場所を整備する必要がある、川の堤にある道に看板を立てたり、整備をしたりした。看板は、子どもたちが協力しあって作り、その活動は地方新聞にも取りあげられた。また今川の水質浄化をしていくために、水質調査を実施し、その状況も調べていった。さらに、ごみ拾いも実施し、水質が悪化しないように活動した。こうした活動によって6月から7月までの長い期間にわたって、ゲンジボタルやヘイケボタルの飛ぶ姿が、今川の下流から上流にかけて見られた。7月からは、カワニナの状態調べをきっかけに、今川に住む水生生物調査も始めた。今川には、ゲンジボタルの幼虫やカワニナだけではなく、絶滅危惧種のナガレホトケドジョウ、要注意種のカワムツ、カワヨシノボリなどの希少種も数多く生息している。ホタルだけを保護するのではなく、今川の生態系の保護という視点で活動していくことの大切さに気づき「森の恵み」にも関心を持って活動を進めてきた。現在も、休日には、子どもたちの活動する姿が見られる。

団体名・グループ名

今川ホタルを守る会

活動の場所（様子や環境など）

おちばの里親水公園周辺（今川の上流から下流）

タイトル

ホタルのたくさん飛ぶ自然豊かな今川に！！

活動を始めたきっかけ（興味を持ったことなど）

「カワニナは、自分で線を引いて、川のそこで絵をかいているよ。」「川の中をのぞくと、二本のつのも出して、貝の家をせおって、ゆっくりゆっくり動いているよ。」「きれいな水が流れているところには、いろいろな生き物がたくさんいるよ。」「暑い夏に行くと、川の中に入るととても冷たくて気持ちがいいんだ。」などと、自然観察会に参加した私たちは、川がとても楽しいところだと思っていました。そんな楽しく遊べる川も、わたしたちにはとても困ったことがありました。それは、遊びに来る人がすてるゴミでした。だから川で遊ぶ前に、いつもゴミ拾いをしていました。遊びに来た人がすてていくから、川がよこれてかわいそうだなと思ってやっていました。なんでみんなは、気持ちがよくて、きれいな自然が好きなのに、ゴミをすてていくんだろうと考えるようになりました。わたしたちがゴミを拾っていると、「ごくろうさま」「大変だね」と言ってくれる人がいることに気がきました。ゴミぶくろと火ばさみを持って、水の中のゴミを拾うと、川がきれいになってとても気持ちがよくなります。そして、自然観察会のおじさんたちから、「こうしないと川は守れないんだよ」という話も聞きました。

このことがきっかけとなって、私たちは、春にはツチガエルやシュレーゲルアオガエルが気持ちよさそうに泳ぎ、六月にはゲンジボタルが緑の光をつけたり消したりして、川の上をたくさんとび回る今川を守って、いこうと考え、ゲンジボタルやいろいろな生き物が、毎年たくさん見られるように、川をきれいにしていく活動を始めました。

活動の目標（やってみたいと思ったことなど）

寒い冬は、川に行くのをどうしようかなと思うときもありますが、行くと水がすき通っていてとってもきれいです。でも、生き物はじっとしていて、見えるところには出てきません。

たくさんの人が川に集まるのは、川で遊ぶのが楽しいからです。だから、いつまでも川をきれいにしておきたいと思います。みんなが川を大切にしてくれるように、これから、わたしたちは川のそうじを続けたいと思っています。そして、きれいな川に生き物がたくさん住めるように、みんなが川をきれいになりたいと思います。今年は、ボタルがもっとたくさん飛ぶように、ゴミ拾いだけではなく、森が豊かな水を生み出していることから、生きた森づくりにも取り組んでいきたいと思っています。

活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

今川ホタルを守る会

ホタルンジャーの活動

(6月)

● 6月6日 (日)

ホタルの小川に住む生物調査をしました。カワニナがたくさん見られ、ホタルがきっとたくさん飛ぶだろうと思いました。おじさんたちが、もうホタルが飛んでいるということを話してくれました。早くみたいなと思いながら、いっしょうけんめいに調べました。取り終わると、みんなで取れた生き物を見せ合いました。

この川には、カワニナの他に、サワガニ、ツチガエル、シュレーゲルガエル、トノサマガエルなどがたくさん見られました。

生き物調査のあと、川のそうじをしました。ゴミを拾ったり、外来種ですぐに増えるクレソンを取ったりして、川をきれいにしました。



カワニナ



シュレーゲル
アオガエル

トノサマ
ガエル

ツチガエル

サワガニ



活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

ホタル観察会 <6月 12日(土) 19日(土)>



●ホタル観察会には、200 人のたくさんの方が来られました。人数が多くてとてもびっくりしました。守る会のおじさんから説明があった後、暗くなるのを待っていると、少しずつピカリ、ピカリと光り出しました。ゲンジボタルの光る様子が見られてとてもうれしくなりました。

●手のひらにゲンジボタルが止まってとてもうれしくなりました。みんなとてもうれしそうです。黄緑色の光がとても不思議でした。

●ゲンジボタルの幼虫は、カワニナをえさにしています。その成長に合わせて、小さいカワニナからだんだん大きなカワニナにえさの大きさを変えていくことが分かりました。いろいろな大きさのカワニナが川の中にたくさんいないと、ゲンジボタル

がたくさん生きていけないことも分かりました。はい上がってくる幼虫を見つけたときにはとてもうれしく思いました。この後、土の中に入って、サナギになります。



◆活動レポート用紙は、活動をした子どもたちが中心に記入してください。

活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

自然観察会 〈7月25日(日)〉

- 親子で自然観察会をしました。今川の支流で行いました。今回は、お父さんやお母さんも参加して、とても楽しい会になりました。きれいな水が流れる所であったため、ナガレホトケドジョウやサワガニ、カワヨシノボリが観察できました。夏の暑い日でしたが、とてもすずしくて、とても気持ち良かったです。
- ここでは、ゲンジボタルの幼虫を観察することはできませんでした。きっと、カワナが小さく、エサが十分でないのかもしれません。



水が冷たくて気持ちいいな!!



ワサビがあるよ。水がきれいだからね。



カワヨシノボリがいたよ。きゅうばんがあるから、おもしろい。

ナガレホトケドジョウがいたよ。ひげが8本あるよ。



活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

水質・生物調査 <月に1回実施>



たくさんの生き物がとれたね。



ホタル調査 <8月1日(日)>

きれいな川だと分かるね。



ホタルの幼虫をみんなで見つけたよ。

今川上流の生き物調査と水質調査をしました。カワニナ・カワムツ・ヨシノボリ・テナガエビ・ナガレホトケドジョウ・カワゲラ・ヘビトンボ・エゾトンボ・ハグロトンボ・オニヤンマ・ツチガエルなど様々な水生生物が観察できました。また、水質は、透明度も高く、とてもきれいなことが分かりました。

ほら。エゾトンボの幼虫だよ。



この川はきれいだね。



活動の内容や調べたこと、写真やイラスト



きれいな川を守るための活動①



〈森を守る活動〉

森は、豊かな水を生み出してくれるところです。その森をよく知るために、森と遊ぶ活動をしています。ツルはとてもじょうぶで切れません。カマキリも見つけました。そして、森づくりをすることによって、豊かな森が作られ、水がたくさん生まれます。



カマキリが指の上に乗ったよ。



（ツルにふらさかると気持ちいいよ!!）



（ツルがたくさん木にまきついているな。）

〈除ばっ材でマイ鉛筆〉

森づくりで切った木の枝を利用して、鉛筆を作りました。自然をむだにしないために、オリジナルの鉛筆を作りました。ナイフを使うので、とても時間がかかりましたが、できあがった鉛筆を見てとてもうれしくなりました。

マイ鉛筆だよ。



活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

きれいな川を守るための活動②



＜森の恵みと植樹＞

森づくりでは、ドングリがなる木を増やすことが大切です。ドングリの木は、動物のエサになったり、落ち葉は栄養豊かな表土になったりします。そして、きれいな水を流し続けてくれます。ドングリを利用して、苗木を作ったり、クッキーを作ったりもしました。森の恵みを大切に感謝したいと思います。



＜水を汚さない取り組み＞

川の水を汚さないように、アクリルたわしで洗ったり、廃油石けんを作ったりしました。また、キャンプでは、排水を川に流さないようにもしました。

マテバニシイが
おいしそうだね



少ない水で洗っているよ。石けんができるかな。

◆活動レポート用紙は、活動をした子どもたちが中心に記入してください。

活動の内容や調べたこと、写真やイラスト



ホタルの保護活動を広げる



〈水の大切さを発表〉

水を大切にすることは、自然を守ることにつながり、人や動物の命を守ることにもつながります。その大切な水を汚さないようにしてほしいという気持ちを、キャンプをしている90人にお願いをしました。アクリルたわしを使ったり、水をむだに使わないようにしたりしてキャンプを楽しみました。



守る会でやっていることを発表したよ。



水の大切さを発表したよ。

〈活動を発信！！〉

こどもエコクラブの交流会で自分たちの活動内容を発表し、活動をさらに楽しく充実したものにしようという気持ちを持つことができました。

自然の大切さを
発表したよ。



●みんなに知っていただく活動

自分たちのやっている活動をたくさんの人に知っていただくことによって、少しでもホタルや自然が守られていけばいいなと思います。たくさんの人に見ていただいたことによって、自分たちの活動が役に立っていくことが分かってとてもうれしくなりました。これからも、ホタルンジャーの活動を続けていきたいと思っています。

活動で工夫したこと、困ったこと

- 川の上流のCODを調べて、水がきれいだと分かったけど、大水の時には泥水がたくさん流れてきた。このままでは、汚れた水が川にどんどん流れこみ、泥がたい積していくことになる。おじさんたちに相談すると、森の表土がけずられているんだと話してくれた。きれいな水がいつも川を流れているためには、森が生き生きとしていることが大切だと教えてくれた。みんなにゴミを捨てないようにお願いするだけでは、川はきれいにならないことが分かった。カワニナやゲンジボタルの幼虫が生きていけるためには、コナラやクヌギ、アベマキなどの広葉樹が森には大切だと分かった。森に光が差し込むようにすることと落葉樹を植えていくことの大切さをこのことから知り、取り組んでいくことにした。
- ゲンジボタルの成虫で光りながら飛んでいるのはオスが多いので、メスを探そうと川の水面に近いしげみの中を見たけど、なかなか見つけられなかった。でも、よく探すと、草むらにオスより大きなメスを見つけることができ、とてもうれしかった。また、幼虫も光ることを知り、サナギになる前に上陸してくるところを見つけれられるようになった。
- みんなにホタルを見てほしいので、ホタル観察会を開いた。手伝いをしながら、みんながホタルを守る気持ちになってほしいと思った。たくさんの人に来てもらってとてもよかった。

活動で気づいたこと、感じたことやおもしろかったこと

これからは、ゲンジボタルを守りながら、近くの田んぼなどにいるヘイケボタルも守らないといけないことに気づいた。近くの沼で、ヘイケボタルの大群が近づいてくる様子を見て、今川の周りでもこのような大群が見られるようになったらいいなと思う。ヘイケボタルは、田んぼが少なくなってきた、数がとても少なくなっているというので、棚田を元にもどして何とか増やせろと思う。それから、今川の水をきれいなままにするために、水質調査や生き物調査をしながら、地域の人たちにも協力をお願いして、ホタルだけでなく、ナガレホトケドジョウやカワムツなどの生き物が元気に住み続けられるように、みんなが楽しく活動したいと思う。



活動からわかった課題

「今川ホタルを守る会」でホタル観察会をやって分かったことは、人がたくさん集まる親水公園の川ではあまりホタルが見られないことだった。人が集まる親水公園は、川に人がたくさん入ってしまうから、川の中があらされてホタルが少ないんだと考えた。だから、川に入って遊びながら、ホタルを守っていくにはどうしたらよいのかがとても大きな課題だと思った。

自分たち、こどもホタルンジャーにできること

ホタルを守るために私たちができることは、みんなに協力していただけるように知らせていくことだと思っている。それは、保護活動をしていくことで、ホタルを大事にしていこうという人が少しずつ増えてきたことで分かった。地域の大切な自然を守りたいという気持ちは、みんなが持っているんだと知ってとても安心した。

また、活動を始めた2年前には、看板を作って川の生き物を大切にするように呼びかけた。川の土手には草が生いしげっていたため、大人がかり取り、そこに砂をしいて、夜間でも足下が安全になるようにした。そして、今年の6月には、ゲンジボタルがたくさん飛び交うすがたが見られた。観察会を開き、私たちはたくさんさんのゲンジボタルの飛び交うすがたを見た。今川には、たびたび出かけては、その様子を観察した。見れば見るほど、その幻想的な様子に引かれる。よく観察すると、ゲンジボタルだけではなく、ヘイケボタルも確認できた。それは、体の大きさや点めつする間かくで分かった。1年間活動して、ホタルの飛び交うすがたは1か月ほどの楽しみだったが、やってよかったなと思う。いつまでも自然環境が守られるように、これからもみんなといっしょにがんばって活動をしていきたいと思う。

大人のひとと一緒に、改善していきたいこと

私たちの活動は、大人のみなさんがいなければできない活動です。私たちがどうしたらいいのかわからないときに、とてもよいアドバイスをしてくれたり、おもしろく楽しい活動をしてくれたりと、いつまでも活動が続くように工夫してくれそうです。でも、いつまでもたよってばかりではいけないと思います。私たちにできることは、自主的にやらなくてははいけません。学校や地域の人たちにホタルを守ることの大切さや、自然のおもしろさを知らせていくことが大事だと思いました。これからは、もっと大人と子どもが協力しながら活動していくことが大切だと思いました。

水質調査・水生生物調査（身近な川について） 調査結果のまとめシート

実施した団体のみ、レポートと一緒に提出してください。今後の事業の参考にします。

水質調査結果：できたら、季節ごとに何回か実施してみましょう。

学校・グループ名	今川ホテル守る会		川の名前	今川
採水月日・時刻	AM 7月25日 PM 9時30分		天候	晴 ・曇・雨
現地気温	33℃	現地水温	25℃	試水水温 (測定時) 25℃
COD(D) (mgO/L)		原水・測定値	0・1・ 2 ・3・4・5・6・7・8以上 (○をつけてください)	
		前日の天候	晴 ・曇・雨	

指標生物（見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい）				調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)		
水質階級Ⅰ	1	アミカ		調査河川名	今川	
	2	ウズムシ		調査地点名	おちばの里親水公園	
	3	カワゲラ	●	昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年の調査地点は昨年度と同じですか？ ☒ 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は ☒ I ☐ II ☐ III ☐ IV ☐ ちがう場所で調査した	
	4	サワガニ				
	5	ナガレトビケラ	○			
	6	ヒラタカゲロウ				
	水質階級Ⅱ	7	ブユ		調査日時	22年7月25日 9時 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)
		8	ヘビトンボ	●	天気	☒ はれ ☐ くもり ☐ 雨 調査時の天気をチェックして下さい
		9	ヤマトビケラ		水温	25℃(小数点1桁まで記入して下さい)
10		イシマキガイ		川幅	約 2 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)	
11		オオシマトビケラ		生物採取場所 ☒ 川の中心 ☒ 上流から見て右岸 ☒ 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい		
12		カワニナ	○		水深 約 20 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい	
13		ゲンジボタル				
14		コオニヤンマ	○			
水質階級Ⅲ		15	コガタシマトビケラ			以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい
	16	スジエビ		流れのはやさ	☐ 速い(毎秒60cm以上) ☐ 普通(毎秒30～60cm) ☒ 遅い(毎秒30cm以下)	
	17	ヒラタドロムシ		川底の状態 ☐ 頭大の石が多い ☐ こぶし大の石が多い ☒ 小石と砂 ☐ コンクリート ☐ 砂と泥 ☐ 泥 ☐ コケ ☐ その他		
	18	ヤマトシジミ				
	19	イソコツブムシ			水のにおい ☒ においは感じられない ☐ においが感じられる (ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい)	
	20	タイコウチ				
	水質階級Ⅳ	21	タニシ			水のにごり ☒ 透明またはきれい ☐ 少しにごっている ☐ 大変にごっている
		22	ニホンドロソコエビ			
		23	ヒル			
24		ミズカマキリ				
水質階級Ⅳ		25	ミズムシ		この地点の水質階級は I です	
		26	アメリカザリガニ		その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)	
		27	エラミミズ		魚類	
		28	サカマキガイ		ナガレボトケドジョウ	
		29	セスジユスリカ		カワムツ カリヨシノボリ	
	30	チョウバエ		水草類		
	水質階級の判定		1. ○印と●印の個数 3 2		鳥類	
			2. ●印の個数 2 0			
			3. 合計(1欄+2欄) 5 2 0 0		その他、気づいたこと	

水辺のすこやかさ調べ・調査結果のまとめシート

実施した団体のみ、レポートと一緒に提出してください。今後の事業の参考にします。

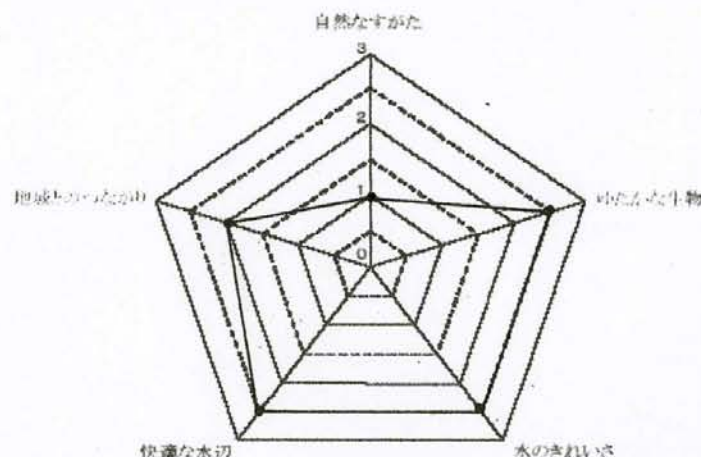
学校・グループ名	今川ホテルを守る会	調査を行った人数	10人
調査した川の名前	今川	調査した日	平成22年 7月25日(日)
調査した川の位置 (区間)	今川上流部	調査を始めた時間 から終わった時間	9時頃から 10時頃まで
調査地点の気温	33℃	調査地点の水温	25℃

調査軸	調査項目	平均	調査軸	調査項目	平均
自然なすがた	流れる水の量	ふつう	快適な水辺	景色(感じる)	心地よい
	岸のようす	コンクリート		ごみ(見る)	ない
	魚が川をさかのぼれるか	堰がある		水とのふれあい(触る)	遊べる
	総合平均	1		川のかおり(かぐ)	においなし
ゆたかな 生きもの	川原と水辺の植物	多い		川の音(聞く)	せせらぎ
	鳥の生息、すみ場	多い		総合平均	2.5
	魚の生息、すみ場	多い	地域との つながり	歴史と文化	利水
	川底の様子と底生生物	多い		水辺への近づきやすさ	容易
	総合平均	2.5		日常的な利用	遊べる
水のきれいさ	透視度	きれい		産業活動	農業用水
	水のおいしさ	ない		環境活動	やっている
	COD(自由選択)	2		総合平均	2
	総合平均	2.5			

(まとめ)

川について気付いたことをまとめてみましょう。また、例えば、下のレーダーチャート図を作成し“水辺のすこやかさ(健やかさ)”を見てみましょう。

コンクリートで2面ばかりになっていますが、自然豊かなきれいな川だということが分かりました。



水質調査・水生生物調査（身近な川について） 調査結果のまとめシート

実施した団体のみ、レポートと一緒に提出してください。今後の事業の参考にします。

水質調査結果：できたら、季節ごとに何回か実施してみましょう。

学校・グループ名	今川ホテル守る会		川の名前	今川
採水月日・時刻	AM 8月22日 PM 9時30分		天候	晴・曇・雨
現地気温	33℃	現地水温	25℃	試水水温 (測定時) 25℃
COD(D) (mgO/L)	原水・測定値	0・1・ 2 ・3・4・5・6・7・8以上 (○をつけてください)		
前日の天候		晴・曇・雨		

指標生物（見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい）		調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)			
水質階級Ⅰ	1 アミカ		調査河川名 今川		
	2 ウズムシ		調査地点名 おちばの里親水公園		
	3 カワゲラ		昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)		
	4 サワガニ	○	今年の調査地点は昨年度と同じですか？ ☒ 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は ☐ I ☒ II ☐ III ☐ IV ☐ ちがう場所で調査した		
	5 ナガレトビケラ		調査日時 22年 8月22日 9時 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)		
	6 ヒラタカゲロウ		天気 ☒ はれ ☐ くもり ☐ 雨 調査時の天気をチェックして下さい		
	7 ブユ		水温 25℃(小数点1桁まで記入して下さい)		
	8 ヘビトンボ	○	川幅 約 / m 水の流れる幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)		
	9 ヤマトビケラ		生物採取場所 ☒ 川の中心 ☒ 上流から見て右岸 ☒ 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい		
水質階級Ⅱ	10 イシマキガイ		水深 約 10 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい		
	11 オオシマトビケラ		以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい		
	12 カワニナ	●	流れのはやさ ☐ 速い(毎秒60cm以上) ☐ 普通(毎秒30~60cm) ☒ 遅い(毎秒30cm以下)		
	13 ゲンジボタル		川底の状態 ☐ 頭大の石が多い ☐ こぶし大の石が多い ☒ 小石と砂 ☐ コンクリート ☐ 砂と泥 ☐ 泥 ☐ コケ ☐ その他		
	14 コオニヤンマ	●	水のにおい ☒ においは感じられない ☐ においが感じられる (ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい)		
	15 コガタシマトビケラ		水のにごり ☒ 透明またはきれい ☐ 少しにごっている ☐ 大変にごっている		
	16 スジエビ				
	17 ヒラタドロムシ				
	18 ヤマトシジミ				
水質階級Ⅲ	19 イソコツブムシ				
	20 タイコウチ				
	21 タニシ				
	22 ニホンドロソコエビ				
	23 ヒル				
	24 ミズカマキリ				
	25 ミズムシ				
	26 アメリカザリガニ				
	27 エラミミズ				
水質階級Ⅳ	28 サカマキガイ				
	29 セスジユスリカ				
	30 チョウバエ				
	水質階級の判定	水質階級	I II III IV		
	1. ○印と●印の個数	2	2		
	2. ●印の個数	0	2		
	3. 合計(1欄+2欄)	2	4	0	0
	この地点の水質階級は		II です		
	その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)		魚類		
モクズガニ		テナガエビ			
水草類		鳥類			
		カワムツ カワヨシノボリ その他、気づいたこと			

水辺のすこやかさ調べ・調査結果のまとめシート

実施した団体のみ、レポートと一緒に提出してください。今後の事業の参考にします。

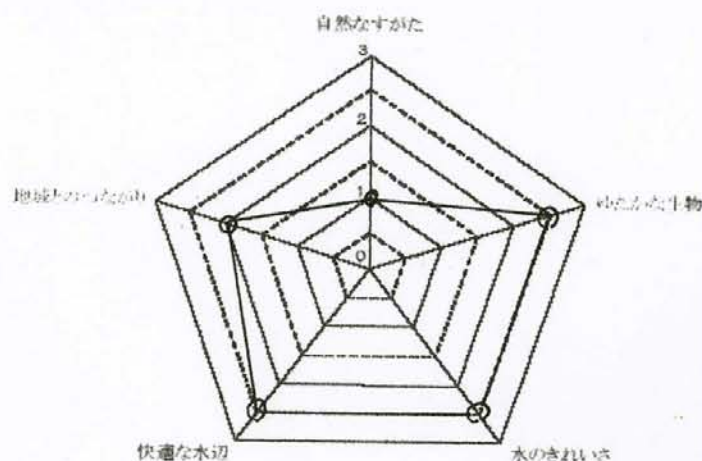
学校・グループ名	今川ホテルを守る会	調査を行った人数	12人
調査した川の名前	今川	調査した日	平成22年 8月22日(日)
調査した川の位置 (区間)	今川上流部	調査を始めた時間 から終わった時間	9時頃から 10時頃まで
調査地点の気温	33℃	調査地点の水温	25℃

調査軸	調査項目	平均	調査軸	調査項目	平均
自然なすがた	流れる水の量	少ない	快適な水辺	景色(感じる)	心地よい
	岸のようす	コンクリート		ごみ(見る)	ない
	魚が川をさかのぼれるか	堰がある		水とのふれあい(触る)	遊べる
	総合平均	1		川のかおり(かぐ)	においなし
ゆたかな 生きもの	川原と水辺の植物	多い		川の音(聞く)	せせらぎ
	鳥の生息、すみ場	多い		総合平均	2.5
	魚の生息、すみ場	多い	地域との つながり	歴史と文化	利水
	川底の様子と底生生物	多い		水辺への近づきやすさ	容易
	総合平均	2.5		日常的な利用	遊べる
水のきれいさ	透視度	きれい		産業活動	農業用水
	水のおいしさ	ない		環境活動	やっている
	COD(自由選択)	2		総合平均	2
	総合平均	2.5			

(まとめ)

川について気付いたことをまとめてみましょう。また、例えば、下のレーダーチャート図を作成し“水辺のすこやかさ(健やかさ)”を見てみましょう。

コンクリートで二面ばかりになっていますが、
自然豊かなきれいな川だということがい
かりました。



水質調査・水生生物調査（身近な川について） 調査結果のまとめシート

実施した団体のみ、レポートと一緒に提出してください。今後の事業の参考にします。

水質調査結果：できたら、季節ごとに何回か実施してみましょう。

学校・グループ名	今川ホテル守る会		川の名前	今川
採水月日・時刻	AM 11月 6日 PM 10時30分		天候	晴・曇・雨
現地気温	20℃	現地水温	15℃	試水水温 (測定時) 15℃
COD(D) (mgO/L)		原水・測定値	0・1・2・3・4・5・6・7・8 以上 (○をつけてください)	

指標生物（見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい）			調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)		
水質階級Ⅰ	1	アミカ	調査河川名	今川	
	2	ウズムシ	調査地点名	おちばの里親水公園	
	3	カワゲラ	昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい) 今年度の調査地点は昨年度と同じですか？ ☒ 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は ☒ I ☐ II ☐ III ☐ IV ☐ ちがう場所で調査した		
	4	サワガニ			
	5	ナガレトビケラ			
	6	ヒラタカゲロウ			
	水質階級Ⅱ	7	ブユ	調査日時	22年 11月 6日 10時 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)
		8	ヘビトンボ	天 気	☒ はれ ☐ くもり ☐ 雨 調査時の天気をチェックして下さい
		9	ヤマトビケラ	水 温	15℃(小数点1桁まで記入して下さい)
10		イシマキガイ	川 幅	約 2 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)	
11		オオシマトビケラ	生物採取場所	☒ 川の中心 ☒ 上流から見て右岸 ☒ 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい	
12		カワニナ		水 深	約 35 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい
13		ゲンジボタル			以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい
14		コオニヤンマ	流れのはやさ		☐ 速い(毎秒60cm以上) ☐ 普通(毎秒30~60cm) ☒ 遅い(毎秒30cm以下)
水質階級Ⅲ		15	コガタシマトビケラ	川底の状態	☐ 頭大の石が多い ☐ こぶし大の石が多い ☒ 小石と砂 ☐ コンクリート ☐ 砂と泥 ☐ 泥 ☐ コケ ☐ その他
	16	スジエビ	水のにおい		☒ においは感じられない ☐ においが感じられる (ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい)
	17	ヒラタドロムシ			水のにごり
	18	ヤマトシジミ			
	19	イソコツブムシ			
	水質階級Ⅳ	20	タイコウチ		
		21	タニシ		
		22	ニホンドロソコエビ		
		23	ヒル		
24		ミズカマキリ			
25		ミズムシ			
26		アメリカザリガニ			
27		エラミミズ			
28		サカマキガイ			
水質階級の判定	29	セスジユスリカ			
	30	チョウバエ			
	水質階級の判定	水質階級	I	II	III
1. ○印と●印の個数		4	2		
2. ●印の個数		2	0		
3. 合計(1欄+2欄)		6	2	0	0
この地点の水質階級は		I です			
その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)			魚 類		
オタマジャクシ			カワムツ		
			カワヨシノボリ		
水草類			鳥 類		
			その他、気づいたこと		

水辺のすこやかさ調べ・調査結果のまとめシート

実施した団体のみ、レポートと一緒に提出してください。今後の事業の参考にします。

学校・グループ名	今川ホテルを守る会	調査を行った人数	11人
調査した川の名前	今川	調査した日	平成22年11月6日(土)
調査した川の位置 (区間)	今川上流部 おちばの里親水公園	調査を始めた時間 から終わった時間	10時頃から 11時頃まで
調査地点の気温	20℃	調査地点の水温	15℃

調査軸	調査項目	平均	調査軸	調査項目	平均
自然なすがた	流れる水の量	多い	快適な水辺	景色(感じる)	心地よい
	岸のようす	コンクリート		ごみ(見る)	ない
	魚が川をさかのぼれるか	堰がある		水とのふれあい(触る)	遊べる
	総合平均	1		川のかおり(かぐ)	においなし
ゆたかな 生きもの	川原と水辺の植物	多い		川の音(聞く)	せせらぎ
	鳥の生息、すみ場	多い		総合平均	2.5
	魚の生息、すみ場	多い	地域との つながり	歴史と文化	利水
	川底の様子と底生生物	多い		水辺への近づきやすさ	容易
	総合平均	2.5		日常的な利用	遊べる
水のきれいさ	透視度	きれい		産業活動	農業用水
	水のおいしさ	ない		環境活動	やっている
	COD(自由選択)	2		総合平均	2
	総合平均	2.5			

(まとめ)

川について気付いたことをまとめてみましょう。また、例えば、下のレーダーチャート図を作成し“水辺のすこやかさ(健やかさ)”を見てみましょう。

コンクリートで2面ばかりになっていますが、
自然豊かなきれいな川だということか
分かりました。

